


えんゆう 遠友だより	はっこう 発行 さっぽろえんゆうじゅく 札幌遠友塾 じしゅやかんちゅうがく 自主夜間中学	 遠友塾
----------------------	---	--

かでのる2・7にて1ヵ月（8月中）の展示

～札幌遠友塾35年間の足跡～

「札幌遠友塾創設35周年」にあたり、8月の1ヵ月間、かでのる2・7にて「札幌遠友塾35年間」の足跡の展示を実施しました。各種写真、卒業文集、教科の教材、年表、各種表彰状（人権賞：札幌弁護士会、社会貢献者表彰：社会貢献支援財団、北海道新聞社文化賞）など、多くの資料を公開しました。また、ドキュメンタリー映画「新渡戸の夢（札幌遠友塾が30分の映像）」がテレビモニターで随時上映され、多くの方に札幌遠友塾を知っていただくことができました。



えつらんふうけい
＜ 閲覧風景 ＞



そつぎょうぶんしゅう
＜ 卒業文集 ＞



かくしゅひょうしょうじょう
＜ 各種表彰状 ＞

札幌駅前通地下広場（チカホ）にて初めての啓蒙 PR 活動

～9月5日（金）6日（土）～

かでのる2・7での展示に続き、札幌駅前通地下広場（チカホ）にて9月5、6日にPR活動を行いました。展示資料を見て頂き、新規の受講生、スタッフの希望もありました。受講生さん、スタッフ、同窓生、賛助会員、議員の方や教育委員会関係の方、友人、知人と、多くの方が立ち寄ってくれました。中には飲み物や、お菓子を差し入れた方もおりました。感謝です。手応えを感じた2日間でした。



すたっふせつめい
＜ スタッフが説明 ＞



けいじしりょうえつらん
＜ 掲示資料閲覧 ＞



ちらし さっしるい
＜ チラシ、冊子類 ＞

＝ 賛助会費等のご寄付、本当にありがとうございます！ ＝



8月に払込み票に書かれておりましたメッセージをご紹介します。

「< Yさん：豊平区 > 事務局中島圭子様 心ばかりのお祝い」

「< Aさん：豊平区 > 賛助会員として貴遠友塾を支援したく、年会費を払込みいたします。」

自主・公立 二刀流教師 藤田真人先生からのコメント

～映画「新渡戸の夢」プロデューサーの並木さんのHPより～



札幌遠友塾が紹介されています映画「新渡戸の夢」の総合プロデューサーの並木秀夫さんが、8月2日のかでる2・7での上映会にて、現在、札幌市立星友館中学校に勤務しながら札幌遠友塾で活動している「藤田真人さん」と出会いました。

藤田さんは通常は星友館中学校の教員として勤め、水曜日には

札幌遠友塾でスタッフとして活動しています。公立夜間中学と自主夜間中学に携わっている方です。

並木さんはHPで藤田さんの思いをぜひ掲載したいと依頼しました。下記がそのコメントです。

藤田真人

私が夜間中学校の存在を知ったのは、山田洋次監督の『学校』という映画を見てからでした。以来、夜間中学校で教壇に立つことを夢見て来ましたが、3年前、北海道で初となる公立夜間中学校が札幌に開校され、思い切って長年生まれ育った帯広市から札幌市に転居しました。はじめは札幌遠友塾のスタッフとして夜間中学に関わり、約1年半前から札幌市立星友館中学校の時間講師として勤務しています。

自主夜間中学、そして公立夜間中学の両方に携わり言えることは、何といたっても受講生さん、あるいは生徒さんの目の輝き、学びたいという意欲がどちらからもひしひしと伝わってくることで、40年近い教員生活の中でも、今ほど共に学び合う場に立てていることを大きな喜びとして感じたことはありません。

『新渡戸の夢』を見たのは2回目になりますが、新渡戸稲造が抱いていた“夢”のほんの一端を私も今手伝わさせてもらっているのかなと考え、「もっと受講生さんや生徒さんのために頑張らなければ」という気持ちにさせられます。

“新渡戸の夢”をもっと大きく実現できるよう、「自主」「公立」の“二刀流”で、北海道、そして全国の夜間中学のために尽力していきたいと考えています。

